

6 ハラアシワムシのなかま

解説

このなかまにはハラアシワムシ属とミドリワムシ属が含まれます。殻が袋状で比較的うすくて見落としがちです。この図鑑にのせてあるのは、ハラアシワムシ属だけです。

ハラアシワムシ属

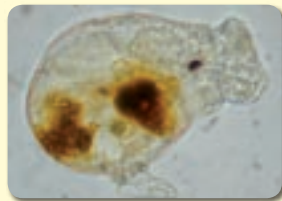
Gastropus

解説

足が腹側から出てすぐに細くなり、先端に2つの趾があります。

個体の大きさ 約150μm

ハラアシワムシ
の一種
Gastropus sp.



7 ネズミワムシのなかま

解説

「ネズミワムシのなかま」は種類が多く形が似ているので、くわしく種名を決めることは困難です。研究者によってはフタオワムシ属をネズミワムシ属に含める人もいます。

特徴

形は円錐形、円筒形などが多く、よく観察すると体の左右で殻の形がちがっています。殻の前には歯やとげをもつ種類も多くあります。また、殻の背中部分が盛り上がっている種類もあります。

この図鑑にのせた属

フタオワムシ属、ネズミワムシ属

「ネズミワムシのなかま」の見分け方

2本の趾の長さはほとんど同じ	2本の趾の長さに差がある
<p>2本の趾</p> <p>フタオワムシ属</p>	<p>1本の趾は目立たない</p> <p>ネズミワムシ属</p>

フタオワムシ属 *Diurella*

解説

フタオワムシ属は頭にあるとげの数や口の形、背中への盛り上がりや趾の長さのちがいでくわしく種類が分かりますが、実際にはなかなか区別するのは困難です。

フタオワムシの一種
Diurella sp.



ネズミワムシ属 *Trichocerca*

解説

フタオワムシと同じく、頭にあるとげの数や口の形、背中への盛り上がりや趾の長さのちがいでくわしく種類が分かりますが、やはり特定の種をのぞいて実際にはなかなか区別は困難です。



ネズミワムシ
Trichocerca capucina
個体の大きさ 100~180μm



ツメナガネズミワムシ
Trichocerca cylindrica
個体の大きさ 280~400μm

8 ドロワムシのなかま

解説

ハネウデワムシ属、ドロワムシ属、スジワムシ属の3つが含まれます。

特徴

これら3属の共通点は、口にある咀嚼器と呼ばれる部分ですが、体の形はまったく異なります。

この図鑑にのせた属

ハネウデワムシ属、ドロワムシ属、スジワムシ属

「ドロワムシのなかま」の見分け方

足がない	足がある	
	殻がない。耳状の突起がある	殻がある。腹面に太い足がある
<p>ハネ状の突起(附着肢)</p> <p>ハネウデワムシ属</p>	<p>耳のような突起</p> <p>足</p> <p>ドロワムシ属</p>	<p>太い足</p> <p>スジワムシ属</p>

ハネウデワムシ属

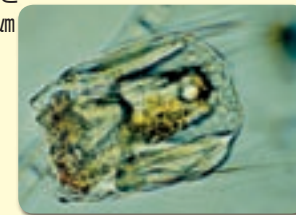
Polyarthra

解説

体の形は箱形です。体の横にハネのようなもの(附着肢)が3本1組で4か所についているためこの名前があります。ホルマリンなどの薬品で固定すると、パンザイしたようにハネが前向きになってしまうことがよくあります。ハネウデワムシ属は数種ありますが、もっとも基本的な1種を紹介します。

ハネウデワムシ

Polyarthra vulgaris
個体の大きさ 120~250μm



ドロワムシ属

Synchaeta

解説

体は、釣り鐘形、前が幅広く、4本の太く長いとげ状の毛をもっています。左右に突き出た耳状の突起があります。ホルマリンで固定すると収縮してしまい、種類を特定するための特徴が見えなくなります。また、すばやく動くので、くわしい種類を特定することは困難です。

ドロワムシ

Synchaeta stylata
個体の大きさ 220~300μm



スジワムシ属

Ploesoma

解説

殻は硬く変形しません。形は卵形や釣り鐘形などです。腹面から太い1本の足を出しています。足の先端は2本の趾に分かれています。

スジワムシ

Ploesoma truncatum
個体の大きさ 170~280μm

